

平成30年 第4回定例会

一 般 質 問

[個 人 質 問]

印 西 市 議 会

順 番	議員番号	議 員 名	質問方式
1	2番	稲 葉 健	登壇一問一答
2	3番	小 川 利 彦	一問一答
3	17番	金 丸 和 史	一問一答
4	4番	玉 木 実	登壇一問一答
5	16番	軍 司 俊 紀	登壇一問一答
6	8番	岩 崎 成 子	一問一答
7	12番	増 田 葉 子	一問一答
8	10番	近 藤 瑞 枝	一問一答
9	7番	浅 沼 美弥子	一問一答
10	11番	橋 本 和 治	一問一答
11	18番	板 橋 睦	登壇一問一答
12	13番	松 尾 榮 子	登壇一問一答
13	15番	小 川 義 人	一問一答
14	19番	山 田 喜代子	登壇一問一答
15	1番	伊 藤 真 一	登壇一問一答
16	9番	海老原 作 一	登壇一問一答
17	6番	櫻 井 正 夫	一問一答

質 問 1

質問者 2番 稲 葉 健

1 地域交通のあり方について

(1) 印西市公共施設等総合管理計画と地域交通のあり方について

①「印西市公共施設等総合管理計画」が策定され現在は「印西市公共施設適正配置実施方針（案）」についての市民意見公募が実施された所であるが、施設の集約化や統廃合化には必ず市民の足の確保が必要と考えるが公共施設の適正配置の実施と地域交通のあり方について伺う

(2) 通学路問題と地域交通のあり方について

①大森小学校の通学路の危険箇所として必ず上がるのが鹿黒地区から大森坂上区間であるが通学時にふれあいバスや公共交通を使える事が出来るようになれば少しでも危険が回避できるが市としては、どのように考えるか

②木下小学校ではふれあいバスを利用して通学している児童が多数いる。登校時、下校時の時間帯を考慮した運行ができないか伺います

(3) 交通不便地区と地域交通のあり方について

平成30年12月1日より乗合タクシー（スワン号）が実証運行されましたが、印西市ではまだまだ交通不便地区がありますが他地区の運行は考えていないのか伺います

(4) 街の発展と地域交通のあり方について

街の発展には地域交通網の発展が重要と考えるが今回は特に今運行しているふれあいバスについて利用率の多いルートについて増便等の検討は行われているか伺います

2 地域のポイント制度の活用について

近年各自治体では、「自治体ポイント」制度の運用や「地域ポイント」を導入して地域の活性化に役立てている。特に「地域ポイント」は様々な目的で取組が進められている。市においてもこのような活用を進めて頂きたく以下質問いたします。

(1) 自治体ポイントの運用について

自治体ポイントとはクレジットカードのポイントや航空会社のマイレージなどを、「自治体ポイント」に交換・合算する事で地域での日々の買物やオンラインショップから全国の特産品をお得に購入できるシステムです。

①近隣では成田市、船橋市が運用しているが市として「自治体ポイント」についてどのように考えているか伺います

(2) 「地域ポイント制度」の運用について

「地域ポイント制度」は「地域通貨」の一形態として「ある特定の地域、コミュニティの範囲に限り流通するお金」と定義されて我国では1999年頃から流通が始まったとみられている。

- ① 「地域ポイント制度」についてどのように考えているか伺います
- ② 近隣では特に千葉市では「ちばシティポイント」として運用を開始したが印西市でも運用を考えられないか

3 第6次産業化について

6次産業化については、市長は平成27年第1回定例会において松本多一郎議員への答弁において農家の再生、活性化を図って行く為に、農産物の生産だけでなく加工、販売にも主体的に取り組む事によって新たな付加価値を生み出し、雇用の確保や所得向上を目指す農家にとって今後事業拡大が期待できる分野と答弁があります。

(1) 第6次産業化に向けて市の現在の取組状況について伺います

- ① 6次産業化への支援について国、県など関係機関と連携は今どうなっているのか
 - ② 市として6次産業の舵取りの組織を構築する考えはないか
 - ③ 印西市の主要産物について検討されているか
 - ④ 今までに市内農家及び業者から6次産業化の申出の有無
- (2) 印西市で6次産業化を行う際のメリット、デメリットについて具体的にどのような事があると考えているか
- (3) 市が率先して地場産業を推進し、6次産業化のサポートをする必要があると思うがどのように考えているか
- (4) 将来的には6次産業化推進に関わる補助金や助成金等の考えについてどのように考えているか

質 問 2

質問者 3番 小川利彦

1 印西市の安心安全対策について

自助・共助ということを認識している状況で、自治体として命を守るという事に対し、市民等への対応について伺います。

(1) 市内救急告示病院との連携について

- (2) 市内民間業者にAED設置に関する進捗状況について
- (3) PUSHプロジェクト（心肺蘇生セミナー）について
- (4) 豪雨対策について
- (5) 避難所の運営について
- (6) 防災啓発について

2 印西市の国際化について

印西市内にも宿泊施設が数軒あり、外国人を受け入れている企業等があります事から、最近では地元でも外国人と接することも多くなってまいりました。

そこで、自治体として何が出来て、何が出来ないのか。

これらについて伺います。

- (1) 外国語に対する対応について
- (2) インバウンド対策について
- (3) 市内在住の外国人に対する対応について
- (4) 今後の対応について

3 公共施設の指定管理者制度について

公共施設の諸問題は、全国各地で共通問題となっているが、今あるものが無くなることによる問題も出てくると思います。

そこで、印西市の考えを伺います。

- (1) 指定管理者制度の導入について
- (2) 今後の対応について

4 市道の整備について

市道の管理者は印西市であるということは、市道認定している道路の全てを管理することであると思います。

市職員や委託業者によるパトロールが実施されているものの、道路での物損事故に対する賠償を年間で数回賠償している。また、市職員による道路補修もされているものの、根本的な対策が必要な部分等について伺います。

- (1) 要望書以外の場所の確認について
- (2) 道路補修をする基準点について
- (3) 今後の対応について

質 問 3

質問者 17番 金丸和史

1 組織及び人事等に関すること

(1) 職務の兼務について

- ①会計管理者と会計課長の兼務は現状のままでよいのか
- ②水道部長と水道課長の兼務は現状のままでよいのか
- ③①・②以外に管理職の兼務辞令はないのか
- ④兼務を解消する考えはないのか

(2) 水道課及び下水道課の統合について

- ①下水道事業の企業会計への移行準備状況は
- ②統合は考えているのか

(3) 再任用の状況について

- ①現在、働いている職員の状況は
- ②再任用を受けなかった職員数は
- ③再任用を受けなかった職員も含めて、意向調査は行ったのか

(4) 休暇等の状況について

- ①課長以上の休暇はきちんと届は出されているか
- ②年次有給休暇の取得率はどうか

(5) 時間外労働について

- ①現状は、減少傾向にあるのか増加傾向にあるのか
- ②来年度の改正労働基準法の施行に際し、どのように対応していくのか
ア月45時間以内に時間外労働を抑えるのは、可能なのか
イ平成31年度予算編成に際し、どのように時間外労働を組み込むのか
- ③課長以上の勤務の状況は

2 「集会所施設整備事業補助金」に関すること

(1) 新規（新築）又は修繕の申請実績はどうか

(2) 新築の場合、現在の土地の登記はどのように行っているのか

(3) 新築の場合、建設費用の自己負担金がない町内会等に対して、どのように指導しているのか

(4) 貸付け等の措置は考えないのか

3 木刈中学校の増築工事に関すること

(1) 増築校舎の場所の検討状況は

(2) 平成31年度当初予算に盛り込む予定の内容は

(3) 計画通りに平成32年度までに間に合うのか

質 問 4

質問者 4番 玉 木 実

1 印西市立小中学校における働き方改革に向けた取り組み

- (1) 印西市による部活のガイドライン作成は
- (2) 出退勤日時の設定
- (3) 留守番電話の活用
- (4) 市費の学習指導員の充実
- (5) 労働条件や労働環境の改善

2 公営施設マネジメントの活用

- (1) 印西市内の都市公園マネジメント化の考え方
 - ①事業化できる候補地公園の市場調査の促進
 - ②印旛沼を望む新たな公園づくりの可能性
- (2) 休眠施設の活用
 - ①旧高花給食センター跡地
 - ②旧永治小学校の跡地

3 農業における6次産業推進の促進は

- (1) 印西市で過去に取り組んできた6次産業化の成果は
- (2) 周辺自治体の6次産業化との比較は

4 子育て支援の具体策は

- (1) 電動自転車の普及促進する補助金の考え方は

質 問 5

質問者 16番 軍 司 俊 紀

1 子ども・子育て支援新制度と市の施策について

平成27年度より子ども・子育て支援新制度がスタートし、新制度に基づく様々な施策が印西市でも展開されています。新制度となって4年が経過する中、子育て支援施策の充実を図る事が、魅力ある印西市となり、住みよさ

ランキング7年連続全国1位に恥じない街になると考えますが、印西市では平成31年度に向け、更なる子育て支援について、どのような考えをもっていくのでしょうか。以下を問います。

- (1) 幼児教育・保育の無償化について
- (2) 待機児童の解消に向けて
 - ①平成31年度の保育園開設見込みについて
 - ②保育士の確保・待遇改善について
 - ③保育の利用調整基準表の見直しについて
- (3) 放課後児童対策(学童保育)について

2 福祉的な交通の方向性について

全国的に少子高齢化が進展し、医療や介護の分野のみならず、様々な課題が浮上していると考えています。また、これからの印西市を担う将来世代の育成は極めて重要な課題であり、切れ目のない子育て支援が求められているところです。

一方で、市内の交通環境を考えると、自己で車を運転できる人を除けば、移動について不自由さを抱えている人が多く見受けられます。これらの人が充実した市民生活を送るためには、移動支援を欠かすことはできないと考えます。以下を問います。

- (1) 市として移動支援のあり方について現状及びその課題を分析し、それらを解決するための取組方針を取りまとめ、今後の施策検討の方向性を定めることが必要ではないか。
 - ①移動能力と利用できる交通の種類を分類できているか
 - ②持続可能な事業運営についてどのように考えているのか
 - ③情報の収集と市民への情報提供をどのように考えているのか
- (2) 「地域公共交通会議」において、今後の市内公共交通体系の検討について、「印西市地域公共交通網形成計画」の策定を目指すと聞くが、具体的なスケジュールはどうか（特に「ふれあいバス見直し分科会」は何を議論し、どのような位置づけとなるのか）

3 空き家対策の現状について

市内の空き家問題については、過去の議会でも取り上げてきましたが、1月6日に「空家等対策の推進に関する特別措置法第7条第1項」に規定する「空家等対策計画の作成及び変更並びに実施に関する事項についての協議を行う機関」として、「空家等対策協議会」が開催されたことを受けて、以下を問います。

- (1) 印西市空家等実態報告書（中間報告）が報告されたが、協議会ではどのような意見が出て、印西市はどのように対応していくのか

- (2) 協議会では空家等対策に係る現状（相談受付簿）が提示され、関係者の対応が記載されているが、未対応とされている16件の今後の見通しは今後どうなっていくのか
- (3) 6月の定例市議会で伝えたが、空家特措法が制定されている現在、印西市が空き家対策行政を実施する法的根拠は既にあると考える。空家等対策計画や条例がなくても法に則って、勧告、命令、代執行や略式代執行ができるはずだが、苦情が寄せられている空家に対して対応が遅々として進まないのはなぜか

4 登下校防犯プランについて

子供の安全確保は、安全安心な社会の要です。しかしながら、平成30年5月、新潟市において、下校途中の7歳の児童が殺害され、未来ある尊い命が奪われるという、痛ましく許しがたい事件が発生しました。政府においては、今回のような事件が二度と発生しないよう対策を強化することは、関係省庁が横断的に取り組むべき課題であるという認識の下、5月18日、「登下校時の子供の安全確保に関する関係閣僚会議」を開催しました。

以降、従来の取組を検証した上で、今般、「登下校防犯プラン」として、対策を取りまとめています。市では「登下校防犯プラン」について子供の安全を守るため、迅速に取り組んできているのだろうか。以下を問う。

- (1) 通学路の合同点検の徹底及び環境の整備改善は図られているのか
- (2) 不審者情報の共有及び迅速な対応はできているのか
- (3) 子どもの危機回避に対する対策は行われているのか

5 千葉ニュータウン各駅圏のまちづくりについて

北総線沿線においては、URや県企業土地管理局の土地処分に伴い、住宅地の形成が進んでいます。

そのため、人口増加傾向がしばらく続くと思えますが、各駅圏では会議室を持つコミュニティ施設や福祉施設、商業施設等の不足が市民より要望として上がってきています。駅圏ごとに問います。

(1) 千葉ニュータウン中央駅圏

- ①東京電機大学の千葉ニュータウンキャンパスは今後、どのような活用が行われていくのか
- ②中央北一丁目の土地は売却先も決定したが、具体的な建築計画はあるのか

(2) 印西牧の原駅圏

- ①ふれあい文化館（そうふけ公民館）においては利用者が増えている。駅周辺の分譲済みの土地の利用を購入業者と相談したり、BIGHOPの「駅前ビレッジ」の活用も必要ではないか

② 駅圏の発展のためには北総線(成田スカイアクセス線)の「アクセス特急」の停車が不可欠だと考えるが、市ではどのように考えているのでしょうか

(3) 印旛日本医大駅圏

特に駅北側の若萩二丁目、三丁目については商業施設がなく、街の賑わいについてだけでなく、この街で「暮らし続けることができるのか」という意見が寄せられる。「駅前や駅周辺には何もなく、街として成り立っているのか」ともいわれます。市としては、若萩エリアだけでなく、いには野地区全体のまちづくりをどのように考えているのでしょうか

質 問 6

質問者 8 番 岩 崎 成 子

1 学校教育の充実について

学校教育における小中学校の平成30年度の主な施策は、小学校においては、「外国語科」を見据えた新たな「外国語活動」が実施されています。中学校においては、中学生の海外派遣研修事業が実施されました。そこで伺います。

(1) 新たな「外国語活動」の現況について

(2) 中学生の海外派遣研修事業について

① 成果について

2 障がいのある人にやさしいまちづくりについて

印西市第2次基本計画において、障がいのある人へのきめ細やかな生活支援と社会参加の促進を掲げています。そこで伺います。

(1) 障がい者への相談・支援体制の中核的機能を果たす「ふれあいサポートセンターいんざい」について

① 指定管理者との連携はどのように行っていくのか

(2) 公共施設等におけるバリアフリー化の進捗状況は

(3) 災害などから障がいのある人を守る体制づくりの進捗状況は

(4) 通所障がい者施設の拡充は計画通り進んでいるのか

(5) 地域生活支援拠点施設の拡充は計画通り進んでいるのか

3 市民の要望について

市民の皆様は毎日の生活の中で、困った問題等が起きた時、市役所の窓口や電話等で迅速な対応に期待し、要望を上げてきます。そこで伺います。

(1) 市民からの要望は

- ①数多く上がってくる要望はどのようなものか
- ②要望への対応は

(2) 町内会・自治会等の組織からの要望は

- ①数多く上がってくる要望はどのようなものか
- ②要望への対応は

質 問 7

質問者 12番 増田 葉子

1 地域の生活支援を充実させていくには

地域包括ケアシステムの構築に向け、「介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）」「生活支援体制整備事業」「在宅医療・介護連携推進事業」「認知症総合支援事業」の4事業を段階的に実施してきていることと思えます。

後期高齢者人口はこれからのピークに向けて増加していく上に、独居、老夫婦のみの世帯も増加しており、今後、地域での生活支援ニーズは急激に増大していくものと思われます。4事業のうち、生活支援や介護予防に大きく関係する「生活支援体制整備事業」はとりわけ重要な事業ではないかと思えます。印西市の現状を伺いたく以下、質問します。

- (1) 市全域を対象とした、いわゆる「第1層の生活支援体制整備」はどのような状況か
- (2) 地域包括支援センターを中心とした5つの日常生活圏域、いわゆる「第2層の生活支援体制整備」はどのような状況か
- (3) 整備すべき生活支援体制とは、どのようなものか

2 終活の必要性をどう考えるか

単身の高齢者が増加しており、自身の死後に不安を抱える方が増えています。引き取り手がないご遺体も増加傾向にあると思われていますが、現実はどのような状況でしょうか。

神奈川県横須賀市は、頼れる親族がなく経済的にゆとりがない高齢者のエ

ンディングサポート（終活支援）にいち早く乗り出し、その取り組みは周辺の自治体にも広がりみせています。地域で安心できる暮らしは、死後の安心という基礎の上に成り立つものと思います。印西市の現状を確認し、終活支援の必要性を考えていくために、以下の質問をします。

- (1) 印西市では、引き取り手のないご遺体・ご遺骨は昨年度どのくらいあったのか
- (2) 行旅死亡人は近年はどのように推移しているか
- (3) 自身の葬儀や埋葬についての相談が市に寄せられた事例はあるか
- (4) 成年後見人は死後の事務を取り扱うことができない。終活支援を行う場合、どのような体制整備が必要となるか

3 印西市の女性活躍推進

女性活躍推進法の施行で、市も事業主として女性管理職の割合などの数値目標を定め、達成状況を公表することが義務づけられています。女性の管理職は着実に増え、各分野で活躍する女性職員も増えている実感はありますが、最新の状況はどうなっているのでしょうか。また今後の課題は何か、認識を共有したく以下の質問をいたします。

- (1) 印西市は平成32年度までに女性管理職の割合を20%にする目標を掲げていますが、今年度の状況はどうか
- (2) 職級ごとの女性の割合は、今年度はどうなっているか
- (3) 職種ごとの女性の割合は、今年度はどうなっているか
- (4) 印西市では育児休業、介護休業の取得期間は、昇格昇級においてどのように扱われているのか
- (5) 印西市では昇格昇級や給与の面で、実質的に女性が不利に扱われているようなことはないか

質 問 8

質問者 10番 近 藤 瑞 枝

1 飼い主のいない猫に関する対応について

平成30年第2回定例会において、「請願第30-1号 地域猫活動における飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費助成金制度に関する請願」が採択された。地域猫活動はどのように進んでいるのか。

- (1) 地域猫活動における飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費助成金制度の

取組状況について

- (2) 飼い主のいない猫に関する市民からの意見・問い合わせについて
- (3) 地域猫活動の促進について

2 犬に関する対応について

朝夕には散歩中の愛犬家が多く見られるが、犬に関する困りごと等もまた多く見受けられる。市民からの意見・相談と、市の取組について伺う。

- (1) 犬に関する市民からの意見・問い合わせ等と対応について

3 市役所の市民対応について

平成29年度印西市市民満足度・重要度調査によると、約6割の市民が市役所職員に対して「好感が持てる」と回答している。しかし、自由意見を見ると厳しい指摘も散見される。より満足度が増すために出来ることは何か。

- (1) 職員に対する市民からの意見について
- (2) 市民対応向上の取組について

質 問 9

質問者 7番 浅 沼 美弥子

1 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

- (1) 里帰り出産時等における県外予防接種について
- (2) 産後検診事業の実施について
- (3) 乳幼児健診等における小児がん（網膜芽細胞腫）の早期発見について

2 高齢者施策

- (1) 肺炎球菌ワクチン接種事業について
- (2) おむつ給付事業について
- (3) 地域での支えあいを推進する友愛事業について

3 児童虐待防止対策

- (1) 児童虐待の現状について
- (2) 児童虐待防止対策の状況について
- (3) 児童虐待防止対策の拡充について

質 問 1 0

質問者 1 1 番 橋 本 和 治

- 1 企業立地促進条例の現状と今後の対応について
- 2 無電柱化の取り組みについて
- 3 住宅政策について
 - (1) 印西市に公営住宅は必要か
- 4 電子自治体に向けての取り組み
 - (1) 電子決裁はどこまで進んだか
 - (2) 電子マネーの推進
- 5 公有財産利活用の取り組みについて

質 問 1 1

質問者 1 8 番 板 橋 睦

- 1 都市再生機構事務用地取得後の利用計画について
 - (1) 進捗状況
- 2 道路問題について
 - (1) 市道竜腹寺線の進捗状況
 - (2) コスモス通りの進捗状況
 - (3) 中央学校給食センター前から和泉地区への道路
 - (4) 国道464号から角田地区への道路
- 3 学校の適正規模・適正配置について
 - (1) 今後の取り組み・進め方
 - (2) 旧永治小学校の跡地活用
 - ①進捗状況

4 印旛中央地区について

(1) 進捗状況

5 スポーツ振興について

(1) 2020年東京オリンピックの合宿準備

質 問 1 2

質問者 13番 松尾 榮子

1 千葉ニュータウン事業関連課題について

千葉ニュータウン事業は、昭和42年に都市計画決定、昭和44年に事業認可され、以来50年間にわたり事業が継続。平成25年度の新住事業終了後も、平成30年度の完了を目標に、残る用地の処分等が急ピッチで行われてきました。半世紀にわたって進められてきた事業が、平成時代の終了と共に完了を迎えるにあたり、事業の現況と関連課題について伺います。

- (1) 事業用地の処分状況について
- (2) 企業進出等の新たな動向について
- (3) 公共施設の引継ぎについて
- (4) 定期借地の今後について
- (5) 千葉ニュータウン事業の総括について

2 中央駅前サービス向上プロジェクトについて

千葉ニュータウン事業関連事務が平成31年3月末で完了するにあたり、UR都市再生機構が中央駅前の事業所を処分することになり、市はこの跡地を購入して市民のサービス向上に充てる方針を明らかにしましたが、具体的内容については庁内検討委員会において検討中とのことでした。

中央駅周辺は昭和59年の入居開始から34年を経過し、中央駅地区の市民人口は、入居当初の数千人から、今年平成30年10月末現在で36,870人となっており、さらに増加中です。それに対して駅圏の公共施設は入居初期に整備されたものが多く、まだまだ不足の機能もあり、現在の人口に見合った規模・内容が必要になってきています。そこで同プロジェクトについて伺います。

- (1) 検討結果と利用方針

(2) 今後のスケジュール

3 北千葉道路について

都心と成田空港の中間に位置する印西市のポテンシャルを生かしたつよく安心なまちづくりに向けて、北千葉道路の完成は、今後の印西市のまちづくりに大きく影響する一大ステップとなります。そこで伺います。

- (1) 北千葉道路東側・国施工区間（成田市船形～押畑間）の進捗状況と開通時期について
- (2) 県施工2期区間・成田市押畑～大山間の進捗状況
- (3) 北千葉道路西側・鎌ヶ谷～市川間の動き
- (4) 道の駅構想について

4 市民が参加しやすいスポーツ環境の整備と推進体制について

印西市第2次基本計画には、「2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、子どもから高齢者まで、市民一人ひとりがスポーツやレクリエーション活動により親しみ、体力の向上や健康の保持・増進を図っていただけるよう、参加しやすい環境の整備や充実を進め、スポーツ人口の増大を図る」とあります。そのための主な取り組みのうち、今回は「特色あるスポーツ事業の展開」「スポーツ・レクリエーション施設の充実」に関わる2点について伺います。

- (1) 泉公園パークゴルフ場の利用促進について
- (2) 家族・友人等で気軽に楽しめる常設スポーツ室（卓球・バドミントン等）の設置について

5 教育環境の整備について

情報化・グローバル化が進む変化の激しい社会の中で、学校教育の課題は多様化しています。子どもたちにはこうした社会に対応できる確かな学力と共に、自分と相手を思いやり、大切にできる豊かな人間性、心と体の健康と体力など、総合的に成長できる教育環境が必要と思います。そこで伺います。

- (1) A L T（外国語指導助手）の配置と活用
- (2) I C T教育（情報通信技術活用教育）について
- (3) 特別支援教育体制について
- (4) 適応指導教室事業について
- (5) 心のバリアフリー教育について

質 問 1 3

質問者 15番 小 川 義 人

1 市民活動のまちづくりについて

小林地区ではイベントの減少や住宅開発が進み、市民主体となって活動し、にぎわいあるまちづくりを行うのに制約が多くなってきています。そこで、下記の項目についてお尋ねします。

- (1) 印西市が市民活動に期待しているもの
- (2) 市民活動を継続していくうえで、印西市として、支えたり、協力できること

2 (通称)三菱化成社宅跡地の開発行為について

長年、空地となっていた(通称)三菱化成社宅跡地の住宅分譲を行う開発業者が決まったと聞いています。小林地区の今後の住みよいまちづくりの整備にも、安全・安心かつ、地域の環境や住民と調和のとれた開発が望まれます。そこで、下記の項目についてお尋ねします。

- (1) 地元住民との協議
- (2) 印西市や関係機関からの助言や指導

3 外国人の国民健康保険の利用について

国民健康保険制度は、外国人が来日してまだ短期間しか保険料を払っていなくても、日本の保険制度を利用し高額な医療を1～3割の僅かな負担で受けられてしまいます。わずかな金額を支払うだけで、長年保険料を納めてきた日本人と同じ、手厚い治療を受けられるわけです。この応分負担の問題は、東京都23区の一部で提起されていますが、印西市でも今後間違いなく顕在化すると思われます。そこで、下記の項目についてお尋ねします。

- (1) 外国人の国民健康保険の加入状況
- (2) 外国人の出産育児一時金の受給状況

4 教育改革について

印西市の教育においてもさまざまな課題を抱え、教育改革の必要性は感じられていることと存じます。今後の社会は、技術革新が一層進展し、予測不可能なものとなっていくでしょう。それでも、子どもたちは未来の社会で生活しなければなりません。子どもたちはわれわれ大人が身に付けてきた能力と違うものを身に付けなければなりません。そこで、下記の項目についてお尋ねします。

- (1) 印西市の教育の課題
- (2) 特色ある取り組み
 - ①現在の取り組み
 - ②産官学の連携

質 問 1 4

質問者 19番 山 田 喜代子

1 風疹への対応について

風疹は風疹ウイルスにより起こる病気で唾液や咳など飛沫により感染する。妊婦がかかると子どもに心臓疾患、難聴、白内障などの重い病気や障がいが出る先天性風疹症候群（CRS）が出る可能性がある。市はホームページ、広報いんざいで抗体検査やワクチン接種などで感染予防をよびかけている。

- (1) 現在、市民の状況はどうなっているか
- (2) 予防接種費用の一部を助成しているが完全無償化する考えはないか

2 北総線3駅とバス停に椅子の設置を

- (1) 3駅の改札口前のスペースには椅子が設置されていない。駅で来客を待つ、あるいは印旛日医大駅では病院行きのバスを待つ、など椅子の設置が必要だ。設置を鉄道会社へ申し入れる考えはないか
- (2) バス利用者の多くは高齢者であり買い物帰りなど荷物を持ち、杖を持ち、両手が塞がっている状態だ。立っているのも辛い。庁舎前、牧の原駅前のバス停には椅子があり利用者に喜ばれている。計画を立て順次椅子を設置する考えはないか

3 市民とともにまちづくりを—UR跡地の活用

まちづくりの一環としてUR跡地をどう活用するのか、市民とともに考え、話し合い検討することを提案する。過日、視察した香川県丸亀市では、平成28年12月から1年かけて、特別委員会設置、岐阜県可児市文化創造センターを視察（市・市議14名）。特別委員会にて施設整備に関する取り組み案を提示。更に市・市議会両主催による講演会開催（講師 衛紀生氏）、施設整備基本構想策定業務着手。1年がすぎその後市民アンケートの実施、文化協会へのヒアリング（34団体）、1万人の車座集会開始、そして平成30年11月（仮）みんなの劇場基本構想（案）策定が認められ、現在、パブ

リックコメント準備中である。市として丸亀市や可児市の先進事例を学び実践する考えはないか。

4 地産地消の推進について

市民の健康を守り食を支える農業の持続的な発展を図る（第7次実施計画より）為、地産地消の推進をどう事業展開する考えか。

質 問 1 5

質問者 1 番 伊 藤 真 一

1 通行時に危険な市道の安全対策について

車で走行中に道幅が急に狭くなったり、見通しが悪いがために歩行者と接触する危険がある市道が有りますので質問します。

(1) 市道18-032（小林小学校下）等、途中から道幅が狭くなる市道について

①市内の市道について把握されているか

②どの様な安全対策を考えているのか

(2) 市道18-017（小林新田地先）等、交通量の多い道路との接続部分の見通しが悪い市道について

①市内の市道について把握されているか

②どの様な安全対策を考えているのか

2 市で管理している設備の改修について

市で管理している設備が、老朽化に伴い劣化した状態となっているので質問します。

(1) 公園設備の改修を、どの様に考えているか

(2) 防火水槽等の表示支柱の劣化について

①市内にどのくらいあるか把握されているか

②今後どの様に改修していくのか

(3) 大型な看板（非核平和宣言都市等）について

①市内にどのくらいあるか把握されているか

②劣化改修をどの様にしていくのか

(4) 屋外にある掲示板（本庁舎、本埜支所、印旛支所の3ヶ所に設置されている）の改修について

3 歩道橋の改善について

老朽化している歩道橋の改修について質問します。

- (1) H29年12月議会での答弁では、「管理者である印旛土木事務所にて対応していただく」との事でしたが、現状を市は把握しているかについて伺います
- (2) 改善が見られない状況を今後、どの様にしていく考えかについて伺います

質 問 16

質問者 9番 海老原 作 一

1 洪水対策について

本年7月に発生した西日本豪雨では、多くの人々が犠牲となるなど、悲惨で甚大な被害を広島県、岡山県などにもたらした。その中の岡山県倉敷市真備町では河川の3カ所の堤防決壊により、地区の4分の1にあたる1200ヘクタールが浸水し、ほぼ半数の住家が床上浸水となり、また、多数の住民が犠牲になった。毎日新聞によれば、亡くなった人のほぼ9割が自宅で見つかり、また、高齢者に集中しており、発見場所もほとんどが1階で溺死とみられることから垂直避難ができない災害弱者が犠牲となった可能性が高いとしている。

印西市においても利根川に接した地域においては、氾濫の可能性があるため市ではハザードマップを作成し注意喚起等を行っているが、あらためて洪水対策について質問する。

- (1) ハザードマップに対する住民の認識についてどのように考えているか
- (2) 洪水の危険度レベルに応じた住民に求める行動等を周知しているか
- (3) 避難方法及び避難方向の考え方はどうか
- (4) 水害の被害指標分析の手引きの活用に関する考えは

2 成年後見制度と市民後見人について

印西市は、第7期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画を策定し、高齢者福祉施策や介護保険施策を推進している。そのなかで、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けるために、権利擁護を必要としている人を制度に結び付け、地域で被後見人等を支える市民後見人の養成に取り組み、支える側も支えられる側も、安心して生活できる体制を整えるとしている。そこで質問する。

- (1) 市長申立ての件数の推移について
- (2) 平成30年度計画である地域連携ネットワークの構築の進捗状況はどうか
- (3) 市民後見人の養成について
- (4) 市民後見人の活動をバックアップする体制整備をどのように考えているか

質 問 1 7

質問者 6番 櫻 井 正 夫

1 イノシシ駆除について

- (1) 収穫の秋が過ぎて被害の程度はどの位か伺います
- (2) 第3回定例会の時に先進地視察をさせたいと答弁されておりますが、視察先の状況について伺います
- (3) 取得予定されていた囲いわなの設置状況を伺います

2 県立公園となっている師戸城址と師戸城周辺の土地活用について

- (1) 師戸城址は県立公園なので印西市独自では不可能と思われませんが、師戸城の再建は出来ないものか伺います
- (2) 師戸城址と印旛沼との境に市道もありますが、元印旛村で買い上げた2haの土地に文化的な弥生時代・縄文時代の住居等の施設を建設し、観光拠点と考えたいが如何なものか伺います

3 一般県道八千代印旛栄自転車道線の一部追加画策について

- (1) 一般県道八千代印旛栄自転車道線（通称：印旛沼自転車道）に便乗して途中からつなげて印旛沼を一周出来る様な策はないか伺います。
- (2) 舟戸大橋も2020年には開通するので歩道も付けられる様でそれに合わせてスタートを臼井田町、飯野竜神橋、土浮、双子公園、そして双子橋から分かれて、瀬戸、鎌苅、師戸、龍ヶ谷橋を渡り、舟戸大橋までの一周ですが、佐倉側と同じく印西市側も土手が築かれているので、舗装するだけなので是非とも考えてはどうか伺います